[illegible]28[illegible]9[illegible]30[illegible]82[illegible]

[illegible]28[illegible]9[illegible]30[illegible]82[illegible]

■[illegible]2[illegible]

[illegible]0.3%[illegible]8[illegible]0.9%[illegible]9[illegible]0.9%[illegible]9[illegible]0.47%[illegible]

[illegible]0.47%[illegible]20[illegible]

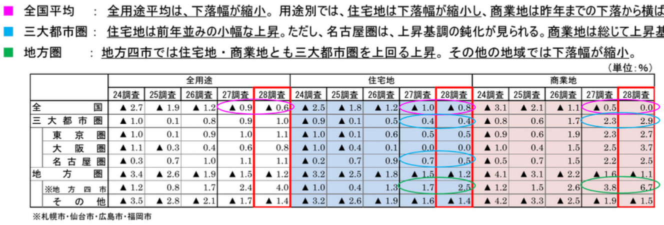
[illegible]

■[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



■ 全国平均　：全用途平均は、下落幅が縮小。用途別では、住宅地は下落幅が縮小し、商業地は昨年までの下落から横ばいに転じた。

■ 三大都市圏：住宅地は前年並みの小幅な上昇。ただし、名古屋圏は、上昇基調の鈍化が見られる。商業地は総じて上昇基調を強める。

■ 地方圏　：地方四市では住宅地・商業地とも三大都市圏を上回る上昇。その他の地域では下落幅が縮小。

（単位：%）

	全用途					住宅地					商業地				
	24調査	25調査	26調査	27調査	28調査	24調査	25調査	26調査	27調査	28調査	24調査	25調査	26調査	27調査	28調査
全国	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 2.5	▲ 1.8	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 3.1	▲ 2.1	▲ 1.1	▲ 0.5	0.0
三大都市圏	▲ 1.0	0.1	0.8	0.9	1.0	▲ 0.9	▲ 0.1	0.5	0.4	0.4	▲ 0.8	0.6	1.7	2.3	2.9
東京圏	▲ 1.0	0.1	0.9	1.0	1.1	▲ 1.0	▲ 0.1	0.6	0.5	0.5	▲ 0.9	0.6	1.9	2.3	2.7
大阪圏	▲ 1.1	▲ 0.3	0.4	0.6	0.8	▲ 1.0	▲ 0.4	0.1	0.0	0.0	▲ 1.0	0.4	1.5	2.5	3.7
名古屋圏	▲ 0.3	0.7	1.0	1.1	1.1	▲ 0.2	0.7	0.9	0.7	0.5	▲ 0.5	0.7	1.5	2.2	2.5
地方圏	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.2	▲ 3.2	▲ 2.5	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 1.2	▲ 4.1	▲ 3.1	▲ 2.2	▲ 1.6	▲ 1.1
※地方四市	▲ 1.2	0.8	1.7	2.4	4.0	▲ 1.0	0.4	1.3	1.7	2.5	▲ 1.2	1.5	2.6	3.8	6.7
その他	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 2.1	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 3.2	▲ 2.6	▲ 1.9	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.2	▲ 3.3	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 1.5

※札幌市・仙台市・広島市・福岡市

[illegible]

http://tochi.mlit.go.jp/kakaku/chika-chousa

■[illegible]

[illegible]

[illegible]28[illegible](2016[illegible])[illegible]20[illegible]

[illegible]219[illegible]6[illegible]2[illegible]56[illegible] [illegible]4[illegible]

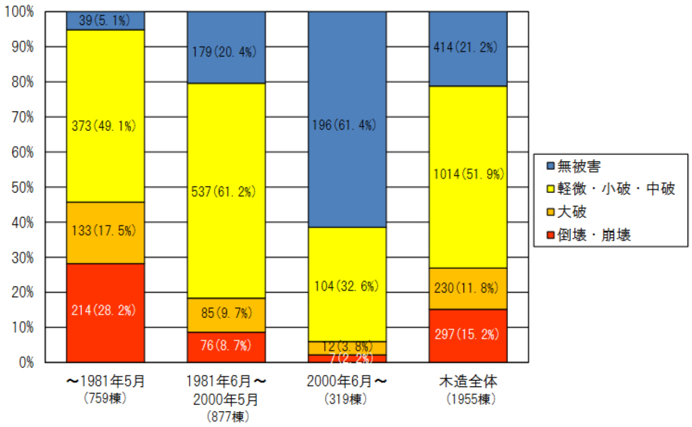


図３　学会悉皆調査結果による木造の建築時期別の被害状況

[illegible]HP[illegible]

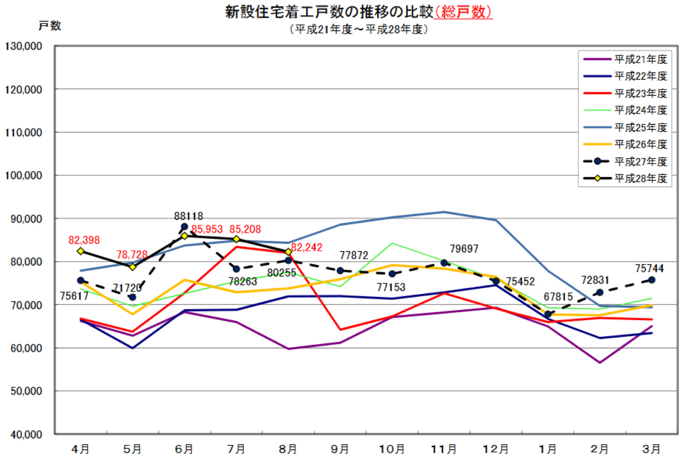
http://www.nilim.go.jp/lab/hbg/0930/report.htm

■[illegible]

[illegible]

[illegible]2.5[illegible]4.9[illegible]

[illegible]


新設住宅着工戸数の推移の比較(総戸数)
（平成21年度～平成28年度）

[illegible]HP[illegible]

http://www.mlit.go.jp/report/press/joho04_hh_000634.html

■[illegible]

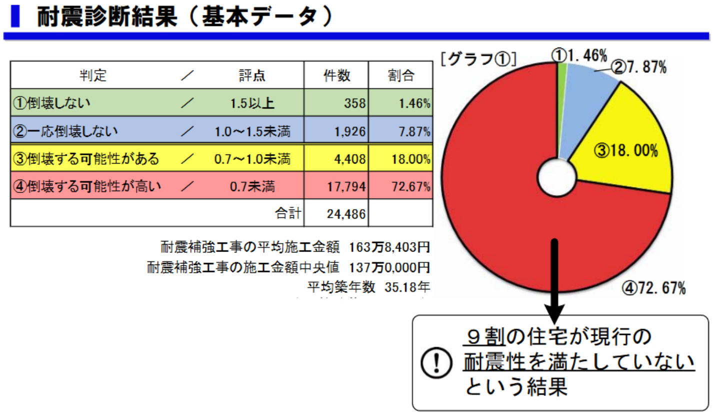
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

http://www.mokutaikyo.com/data.html



耐震診断結果（基本データ）

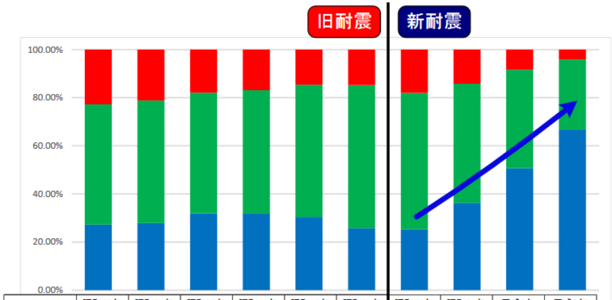
判定	／	評点	件数	割合
①倒壊しない	／	1.5以上	358	1.46%
②一応倒壊しない	／	1.0～1.5未満	1,926	7.87%
③倒壊する可能性がある	／	0.7～1.0未満	4,408	18.00%
④倒壊する可能性が高い	／	0.7未満	17,794	72.67%
		合計	24,486	

耐震補強工事の平均施工金額　163万8,403円
耐震補強工事の施工金額中央値　137万0,000円
平均築年数　35.18年

[グラフ①]
①1.46%
②7.87%
③18.00%
④72.67%

９割の住宅が現行の耐震性を満たしていないという結果

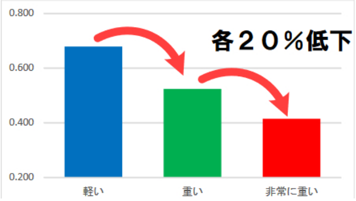
表① 築年数別にみる　屋根重量の変化



	昭和25年～昭和30年	昭和31年～昭和35年	昭和36年～昭和40年	昭和41年～昭和45年	昭和46年～昭和50年	昭和51年～昭和55年	昭和56年～昭和60年	昭和61年～平成2年	平成3年～平成7年	平成8年～平成12年
戸数	378	492	1,029	1,970	3,273	4,937	4,008	3,487	2,812	2,100
🟥非常に重い	22.75%	21.14%	17.88%	16.80%	14.63%	14.71%	17.96%	14.20%	8.32%	4.00%
🟩重い	50.00%	51.02%	50.24%	51.42%	54.96%	59.57%	56.81%	49.53%	40.93%	29.29%
🟦軽い	27.25%	27.85%	31.88%	31.78%	30.40%	25.72%	25.22%	36.28%	50.75%	66.71%

→ ！ 新耐震以降、軽い屋根の割合が増加している

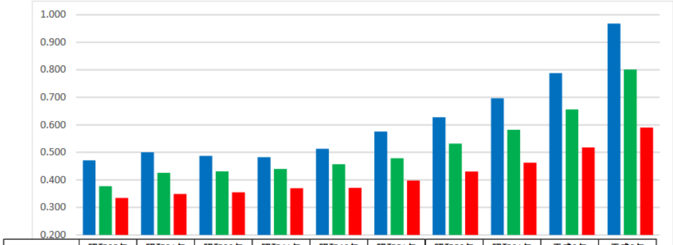
表②　屋根の重さと評点（耐震性）との関係



	🟦軽い	🟩重い	🟥非常に重い
戸数	8563	12480	3443
平均評点	0.679	0.524	0.415

→ ！ 屋根が重くなるごとに
耐震性が２割低くなる

表③　年代別　屋根の重さ別　平均評点の変化



	昭和25年～昭和30年	昭和31年～昭和35年	昭和36年～昭和40年	昭和41年～昭和45年	昭和46年～昭和50年	昭和51年～昭和55年	昭和56年～昭和60年	昭和61年～平成2年	平成3年～平成7年	平成8年～平成12年
🟥非常に重い	0.334	0.349	0.355	0.370	0.371	0.398	0.430	0.462	0.517	0.590
🟩重い	0.377	0.425	0.431	0.439	0.457	0.478	0.532	0.582	0.656	0.801
🟦軽い	0.471	0.501	0.487	0.482	0.513	0.576	0.627	0.696	0.788	0.967
平均評点	0.393	0.430	0.435	0.441	0.461	0.491	0.538	0.606	0.711	0.904

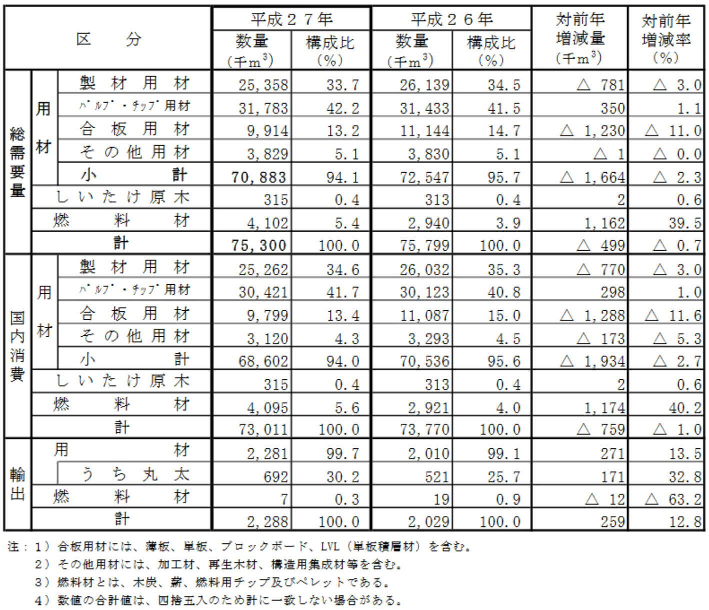
→ ！ どの年代でも同様の傾向

築年数に関わらず、屋根が重いほど耐震性が低い
→　屋根が重い住宅ほど、耐震改修の必要性が高くなる

■□□□□□□□27□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□27□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□7,530□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□0.7□□□□□□□□
□□□□□□2,505□8□□□□□□□□□□□□□6.0□□□□□□□□□5,024□2□□□□□□□□□□□□□3.7□□□□□□□□
□□□□□□□□□□2.1□□□□□□□□33.3□□□□□□□23□□□5□□□□□□□□□□□□

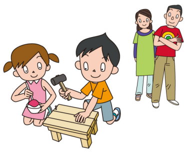
木材需要の動向



区分			平成２７年		平成２６年		対前年増減量（千m³）	対前年増減率（%）
			数量（千m³）	構成比（%）	数量（千m³）	構成比（%）		
総需要量	用材	製材用材	25,358	33.7	26,139	34.5	△ 781	△ 3.0
		ﾊﾟﾙﾌﾟ・ﾁｯﾌﾟ用材	31,783	42.2	31,433	41.5	350	1.1
		合板用材	9,914	13.2	11,144	14.7	△ 1,230	△ 11.0
		その他用材	3,829	5.1	3,830	5.1	△ 1	△ 0.0
		小計	70,883	94.1	72,547	95.7	△ 1,664	△ 2.3
	しいたけ原木		315	0.4	313	0.4	2	0.6
	燃料材		4,102	5.4	2,940	3.9	1,162	39.5
	計		75,300	100.0	75,799	100.0	△ 499	△ 0.7
国内消費	用材	製材用材	25,262	34.6	26,032	35.3	△ 770	△ 3.0
		ﾊﾟﾙﾌﾟ・ﾁｯﾌﾟ用材	30,421	41.7	30,123	40.8	298	1.0
		合板用材	9,799	13.4	11,087	15.0	△ 1,288	△ 11.6
		その他用材	3,120	4.3	3,293	4.5	△ 173	△ 5.3
		小計	68,602	94.0	70,536	95.6	△ 1,934	△ 2.7
	しいたけ原木		315	0.4	313	0.4	2	0.6
	燃料材		4,095	5.6	2,921	4.0	1,174	40.2
	計		73,011	100.0	73,770	100.0	△ 759	△ 1.0
輸出	用材		2,281	99.7	2,010	99.1	271	13.5
		うち丸太	692	30.2	521	25.7	171	32.8
	燃料材		7	0.3	19	0.9	△ 12	△ 63.2
	計		2,288	100.0	2,029	100.0	259	12.8

注：１）合板用材には、薄板、単板、ブロックボード、LVL（単板積層材）を含む。
　　２）その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
　　３）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
　　４）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

■□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□



□□□□□□□□□□ □□□
□□□□□□□□□□□
10/15□□□□□□□□□□□□10/16□□□□□(□□80□)□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□

□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□	□□28□10□15□□□□□16□□□□	10□□16□
□□	□□□□	
□□□□□	□□□□□□□	096-389-0022